

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol.69

三たびの挑戦

世界一になったわが町の海峡

香川県 土庄町長

おかだ こうへい

岡田 好平



ギネスブックに世界一狭い海峡として認定された土漕（どぶち）海峡は、小豆島の西北部に位置する土庄町の役場前にあり、一見小さな川にしか見えない幅9.93m、最長400m、総延長2.5kmの海峡です。子犬の形をした小豆島は、実は二つの島から成り立っており、犬の頭部が通称前島、胴体部分が小豆島本島であり、この間が海峡で、土庄地区・漕崎地区の名をとって、古くから土漕海峡と言われてきました。

この海峡が、世界一狭い海峡として認定され、ギネスブックに掲載に至るまでの道のりは、決して生やさしいものではありませんでした。

まず1990年6月、小豆島観光協会がギネス社へ認定申請しましたが、その名が記載された国家機関発行の証明が必要と一蹴されました。二度は海上保安庁・香川県土庄土木事務所に働きかけ、海峡である旨の証明を併せ、これらを添付して今度は土庄町長名で1991年申請しましたが、再び涙を飲みました。そこで国土地理院四国測量部への働きかけが始まりました。人工的な運河でないこと、従来から小型貨物船が行き交っていて、今も小型漁船が利用していること、更に地元では昔から「土漕海峡」と呼ばれていることなど説明し、地図への記載を要望しました。

ついに、1995年12月発行の国土地理院地形図に土漕海峡が記載されました。町ではこの地図を添付、ギネス社へ三度目の申請を行い、翌1996年1月19日に認定され、1997年度ギネスブックに土漕海峡が世界一狭い海峡として記載されました。これまでの世界一はギリシャ本土とエーゲ海のエヴィア島の間にある幅40mのハルキス海峡でした。

現在この土漕海峡には、三つの橋と小さなフレトピア緑地公園が架かっています。これらを通過（横断）すると「世界一狭い海峡横断証明書」が町役場で受けられ、すでに8万枚を超え、小豆島の楽しい思い出の一つになっています。更にこの海峡を中心に小豆島まつりや素麺を作るとき使われていたソーメン樽競争、昨年から緑地公園にイルミネーションを飾って町民憩いの場となっております。

土庄町ではこれを中心に地域振興イベントや「小豆島尾崎放哉記念館」・300年の伝統ある肥土山農村歌舞伎・「みなとオアシス大坂城残石記念公園」・潮の干満によって砂浜の現れる「天使の散歩道」など、個性豊かな観光資源開発にも取り組んでおります。



土漕（どぶち）海峡



みなとオアシス大坂城残石記念公園



天使の散歩道（エンジェルロード）